

# 街 づ く り

本八幡駅北口の再開発  
**本市が支出予定の補助金の額は約110億円を予定している**



**にしむた勲議員(市民クラブ)**  
 現在進められている本八幡駅北口駅前地区市街地再開発事業について、国、県及び市の補助割合と市の負担額はどのようになっているのか。また、事業者が保留床を想定よりも高く売却した場合、市が負担する補助金の額に影響はあるのか。  
**答** 補助対象事業費に対する補助割合は、国が定めた要綱に基づき、国が3分の1、県と市で合わせて3分の1となっており、本市が負担する予定の補助金の額は約110億円である。また、本市が負担する補助金は、調査設計費や土地整備費などが対象であり、保留床の処分金の額が変動しても補助金の額に変更はない。

アスベスト対策  
**除去工事などに対する補助は可能か 近隣自治体の制度を調査研究する**



**石崎ひでゆき議員(市民クラブ)**  
 アスベストによる健康被害は、これを取り扱う労働者のみならず、多くの国民の問題である。現在、建築物の解体・改修工事当たっては、有資格者によるアスベストの事前調査が義務付けられているが、市民の安全・安心などの観点からアスベスト除去工事や資格取得のための講習受講費用に補助を行う考えはあるか。  
**答** 一部の自治体では、特に飛散性の高い吹き付けアスベストの調査や除去工事に対する補助や講習受講費用の限定的な補助を行っている。現在、本市ではこれらの補助は行っていないが引き続き、近隣自治体の制度を調査研究していく。

## 経 済

商店会の活性化

**商店会などの減少 市の対策は 事業承継支援などを実施**

**石原みさ子議員(創生市川)**  
 商店会は、地域住民の生活に欠かせない存在である。近年、商店主の高齢化、後継者不足などにより、商店



会や商店会会員数が減少しているが、市ではどのような対策を進めていくのか。  
**答** 市内商店会の相互協力団体である市川市商店会連合会と連携し、事業承継支

外国人への生活保護

**年間支出額はどのくらいか 保護費約3億8千万円などを支出**

**大久保たかし議員(創生市川)**  
 外国人が世帯主である生活保護受給世帯数は、令和6年10月現在で約2,200世帯とのことだが、5年度に



おける外国人の生活保護受給世帯数は月平均でどのくらいか。また、生活扶助や住宅扶助等の保護費、医療扶助費及び介護扶助費の年間支出額について問う。  
**答** 5年度における外国人を含む生活保護受給世帯数は、月平均で約2,400世帯である。年間支出額は、5年度の決算ベースで、生活扶助や住宅扶助等の金銭給付による保護費として約3億8,000万円、医療扶助費として約2億6,000万円、介護扶助費として約1,300万円となっている。

新型コロナワクチン

**個人の死亡事例 公表する考えは 本市の死亡事例 公表する考えは**

**太田丈之議員(参政党)**  
 国の予防接種健康被害救済制度において、新型コロナワクチンの接種による全



国の死亡認定件数は、令和6年11月29日現在で915件あり、そのうち10代は9件、20代は28件となっている。ワクチン接種による死亡リスクを市民に伝えるため、本市での死亡事例について公表していくべきと考えるが、市の見解を問う。  
**答** 国における当該救済制度の審議結果が累積されてきていることから、個人が特定されない範囲で公表することは可能と考えている。現在、当該救済制度において認定を受けた者の症状や死亡件数の公表について検討をしているところである。

プレコンセプションケア

**周知啓発 どのようなように 様々な媒体でノートやシートを紹介**

**浅野さち議員(公明党)**  
 妊娠前の健康管理を行う上で、男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を身につけ、健康管理を行うよう



促すプレコンセプションケア(プレコン)の充実を重要と考える。そこで、その周知啓発について問う。  
**答** 女性の健康づくりについて市公式ウェブサイトやX等、様々な媒体で周知していきたい。プレコンノートはプレコンを初めて実践する人でも取り組めるように作成されたもので、プレコン・チェックシートは生活習慣を振り返るきっかけとなるものである。これらは、女性や若い世代の健康管理の助けとなることから、紹介していきたい。

## 常 任 委 員 会 の 視 察

### 総務委員会

【日程】令和6年10月29日~31日  
 【視察地及び視察項目】  
 ・寝屋川市 完全フレックスタイム制  
 ・倉敷市 NPOと連携した効果的な避難所運営  
 ・広島市 広島市防災士養成講座

【主な視察内容】

寝屋川市は、職員の就業が必須となるコアタイムを設けない完全フレックスタイム制を全国の自治体で初めて導入し、働き方改革を推進することで、時間外勤務の縮減などを図っている。倉敷市は、NPOと連携した避難所運営をしており、NPOの支援を受けながら、避難訓練の実施、個別避難計画の策定などを行っている。広島市は、地域で防災活動を継続的に行うために、「防災士」の資格取得制度を活用し、地域の防災リーダーを養成する「広島市防災士養成講座」を実施するなど、地域の防災体制づくりに力を入れている。



寝屋川市

### 健康福祉委員会

【日程】令和6年10月28日~30日  
 【視察地及び視察項目】  
 ・八幡市 「すくすくの杜」の運営  
 ・奈良市 「奈良市斎苑 旅立ちの杜」の運営  
 ・伊勢市 (1)子育てハンドブック  
 (2)交流ひろば「あそびーな」の運営

【主な視察内容】

八幡市は、子ども・子育て支援センター「すくすくの杜」を設置しており、子育ての相談ができるほか、様々な講座を開催している。奈良市は、DBO方式を用いた新施設である「奈良市斎苑 旅立ちの杜」を令和4年4月に供用開始している。伊勢市は、妊娠から出産、乳・幼児期の各ライフステージにおける子育て支援の情報をまとめた子育てハンドブックを発行しているほか、株式会社ボーネルンドが監修し、子どもの成長段階に応じた自発的な遊びができる3つのエリアを用意した交流ひろば「あそびーな」を設置している。



奈良市

### 環境文教委員会

【日程】令和6年10月22日~24日  
 【視察地及び視察項目】  
 ・城南衛生管理組合 クリーンパーク折居の運営事業  
 ・豊田市 美術館の運営事業  
 ・一宮市 地域新電力の運営事業

【主な視察内容】

城南衛生管理組合は、一般廃棄物を焼却処理する施設であるクリーンパーク折居を運営し、焼却によりごみの体積を減らすほか、発生した熱を用いて発電することで循環型社会の形成に貢献している。豊田市は、豊田市美術館の開館以来、学校現場とのパートナーシップを徐々に築き上げながら、鑑賞教育の推進に力を入れている。一宮市は、地域新電力会社「いちのみや未来エネルギー株式会社」を設立し、市内の再生可能エネルギーを市有施設へ供給することによるエネルギーの地産地消や資金の域内循環などを推進している。



一宮市

### 建設経済委員会

【日程】令和6年10月22日~24日  
 【視察地及び視察項目】  
 ・静岡市 浸水対策及び静岡市治水交流資料館  
 ・名古屋市 東山動植物園  
 ・草津市 グリーンインフラの取り組み

【主な視察内容】

静岡市は、浸水対策を計画的かつ重点的に推進するために「静岡市浸水対策推進プラン」を策定しているほか、治水対策事業や過去の水害について学ぶことができる治水交流資料館を設置している。名古屋市は、「東山動植物園再生プラン新基本計画」に基づき、展示施設の整備や来園者の利便性向上など、何度も訪れたくなるような多様な魅力を持つ動植物園を目指して取り組んでいる。草津市は、草津川跡地に係る基本構想・基本計画を策定し、にぎわいとうるおいが創出される空間づくりを行い、都市価値の向上を図っている。



草津市